

【新発見】越谷市向畑・香取神社の「文化七年『天神宮』文字塔」

須藤 賢一

はじめに

二〇二六年五月十日、越谷市向畑・香取神社（埼玉県越谷市向畑八三一）境内の小社の中に安置されている石塔（文化七年「天神宮」文字塔）の存在を確認した。

先行研究

この「文化七年『天神宮』文字塔」は、向畑香取神社および石仏についての先行研究には記載されていない。

- ①加藤幸一「新方地区の石仏」平成七・八年度調査／平成三十一年一月改訂「向畑香取神社」
- ②埼玉県神社庁神社調査団編『埼玉の神社（北足立・児玉・南埼玉）』埼玉県神社庁（平成十年三月三十一日発行）「向畑香取神社」一一七四頁―一七五頁
- ③越谷市役所『越谷ふるさと散歩（下）』越谷市史編さん室（昭和五十五年四月三十日発行）「向畑香取神社」十五頁―十六頁
- ④『越谷市金石資料集』越谷市史編さん室（昭和四十四年三月二十五日発行）

以上を踏まえ、管見のかぎり「未調査」「未報告」であった越谷市向畑・香取神社の「文化七年『天神宮』文字塔」について調査した結果を報告する。

文化七年「天神宮」文字塔

トタン葺きの小社の中央に、やや傾いて石塔（「天満宮文字塔」が一基置かれている（挿図①）。石塔型式は祠型。造立は江戸後期・文化七年（一八一〇）

正面

主銘は「天神宮」（挿図②）

左側面

左側面（向かって右側）には、「文化七十年」の銘と、四人の名前（「戸張□蔵」「同 与吉」「染谷庄助」「石渡忠□」）が刻まれている（挿図③）

右側面

右側面（向かって左側）には、「正月吉日」の銘と、四人の名前（「長野亀松」「同 庄松」「古屋浩蔵」「鈴木初五□」）が刻まれている（挿図④）

付記

筆者が調査した二〇二六年五月十日の時点では正面の主銘（天神宮）しか確認できなかった。側面（左側面と右側面）の銘については、二〇二六年五月十二日に行なわれた越谷市郷土研究会・文化財パトロールのときに、秦野秀明氏とともに確認した。

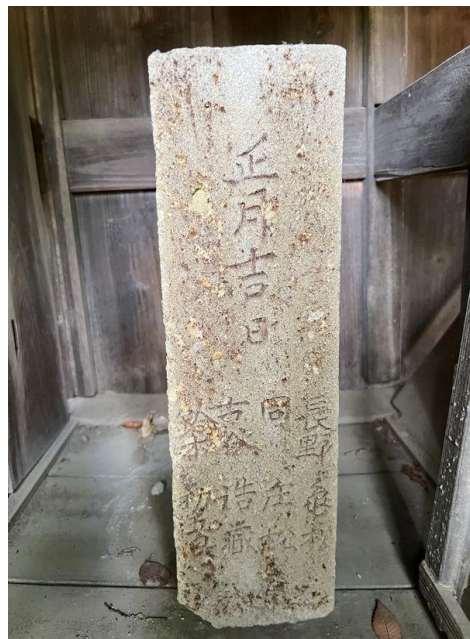
【参考文献】

- 庚申懇話会編 『日本石仏事典（第二版新装版）』雄山閣（一九九五年二月二十日発行）
- 日本石仏協会編 『石仏巡り入門―見方・愉しみ方』大法輪閣（一九九七年九月二十五日発行）
- 日本石仏協会編 『新版・石仏探訪必携ハンドブック』青砥書房（二〇一一年四月一日発行）

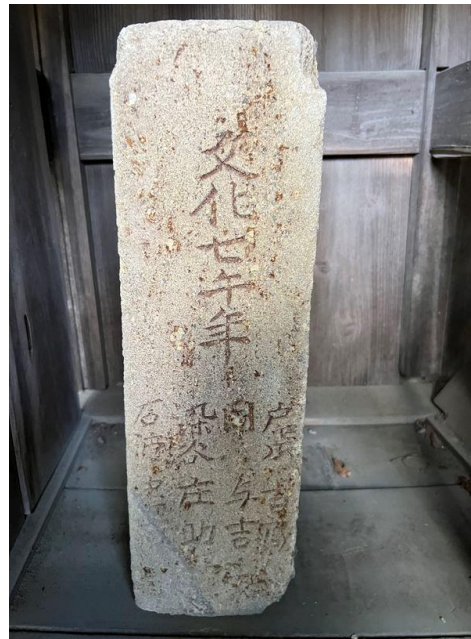
【挿図出典】

挿図①～④はすべて筆者撮影

【挿図一覧】



挿図④
右側面



挿図③
左側面



挿図②
正面（主銘…天神宮）



挿図①
小祠と天神宮文字塔